



2024年度環境目標進捗状況報告



2024年度の環境活動も残り1ヶ月となりました。ここまでの環境目標の進捗状況を報告すると、電気使用量もエコキャップ回収も順調に推移しています。現段階で達成できる見込となっています。美化活動は、既に二回実施され達成しています。今回もたくさんの廃棄物を拾い集め、地域河川等の負荷低減が図れたと考えます。環境教育配信も防災活動も計画した内容で実施できました。こうした活動が、今後、継続されるか次回以降の情報誌で報告します。

一斉防災訓練の感想

2月18日、水戸市の一斉防災と呼応して緊急事態の対応訓練を実施しました。今回も身の安全を確保するためにシェイクアウト動作を1分間行っていました。東日本大震災からいつの間にか14年という歳月が流れて行き、社長の判断で、当時の被害状況など、残された写真でその時の状況を確認いただきました。災害以前から地震を想定して転倒防止対策等設置していましたが、想定以上の被害がありました。防災に十分はないと反省しています。

千波湖フォーラム開催を支援しています

支援している環境団体が、4月5日に環境フォーラムを開催することになりました。コロナ以降初めての企画で、今回は千波湖の水質浄化をテーマにして、市民の目線でどうすれば良い方向に進むか提案し、話し合う集会にしたいと考えています。将来的には桜川導水を利用する計画ですが、数年先まで何もせず放置しておくのか、導水を利用する段階になったとき、毎回巨額な予算をつぎ込むか市民の立場で千波湖の水質改善策をテーマに話し合います。



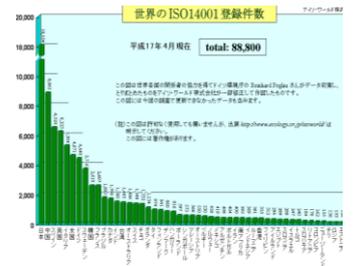
環境コラム「水戸市博物館」新水戸八景プラスワン

この新水戸八景の案内も今回が最後になります。8ヶ所の新水戸八景と、お勧めしたい場所を紹介させていただきました。有終の美を飾るのは「博物館」です。残念ながら水戸に美術館や歴史館があることは知られていますが、博物館があることを知っている人は少ないと感じています。水戸の博物館は、他の地域から、注目されていることがたくさんあり、特に歴史の所蔵品が豊富で熱心な研究者の間では、高く評価されています。博物館の仕事として、珍しい物を展示し周知させることも大切ですが、失われてゆく、郷土の大切な文化遺産を継承することも、重要な任務となっています。昨年は水戸出身不世出の大横綱、常陸山展を開催して、相撲愛好者屋や関係者など多くの方々が訪れました。印象に残っている展示品の中に、江戸時代、水戸藩の絵師の子、当時としては、大変珍しかった女流画家、櫻井雪保(せつぼ)の展示会で、竜の襖絵を見た時のこと今でも思い出されます。先人に、このような優れた才能を持った方が活躍されたこと、時代と場所が違っていたら、評価される内容も変わっていたのではないかと残念に思いました。文化遺産の価値とは、その時代評価されたものだけにあるのではなく、人が感銘を受けたすべてのものあると思います。その思いは、どこか環境保全に相通じるものがあります。今も、水戸の街は、紅梅、白梅が春の訪れを告げるように咲き誇っています。この風景も、後世に残したいものです。



最高責任者の評価「環境マネジメントKESからISOに移行」

KES環境マネジメントを取得し活動を続けてきたが、2025年度より、ISO取得を目指すことになった。KES活動は、ホームページ等で公開している内容が高く評価されている。環境会議は当面継続する。KESとISOの違いの一つとして、法令の遵守並びに法令を調査する人材の評価が含まれる。順次、コンサルタントの指示により変更していく。環境会議は廃止するもの継続するものを明確にして行く。



2024年度環境目標進捗状況表

今月の目標も達成できました
ご協力いただき
心より感謝いたします！



	今月の目標	今月の実績	今月の評価	本年目標累計	本年実績累計	累計達成率	全体的評価
電気使用量 合計(kwh)	38,334	32,472	(達)	318,349	292,896	109%	(達)
エコキャップ(個数)	1,200	1,200	(達)	14,500	14,500	100%	(達)
美化活動(回数)			—	2	2	100%	(達)
環境教育(回数)	1	1	(達)	5	5	100%	(達)
防災計画(進行度%)	15	15	(達)	85	85	100%	(達)